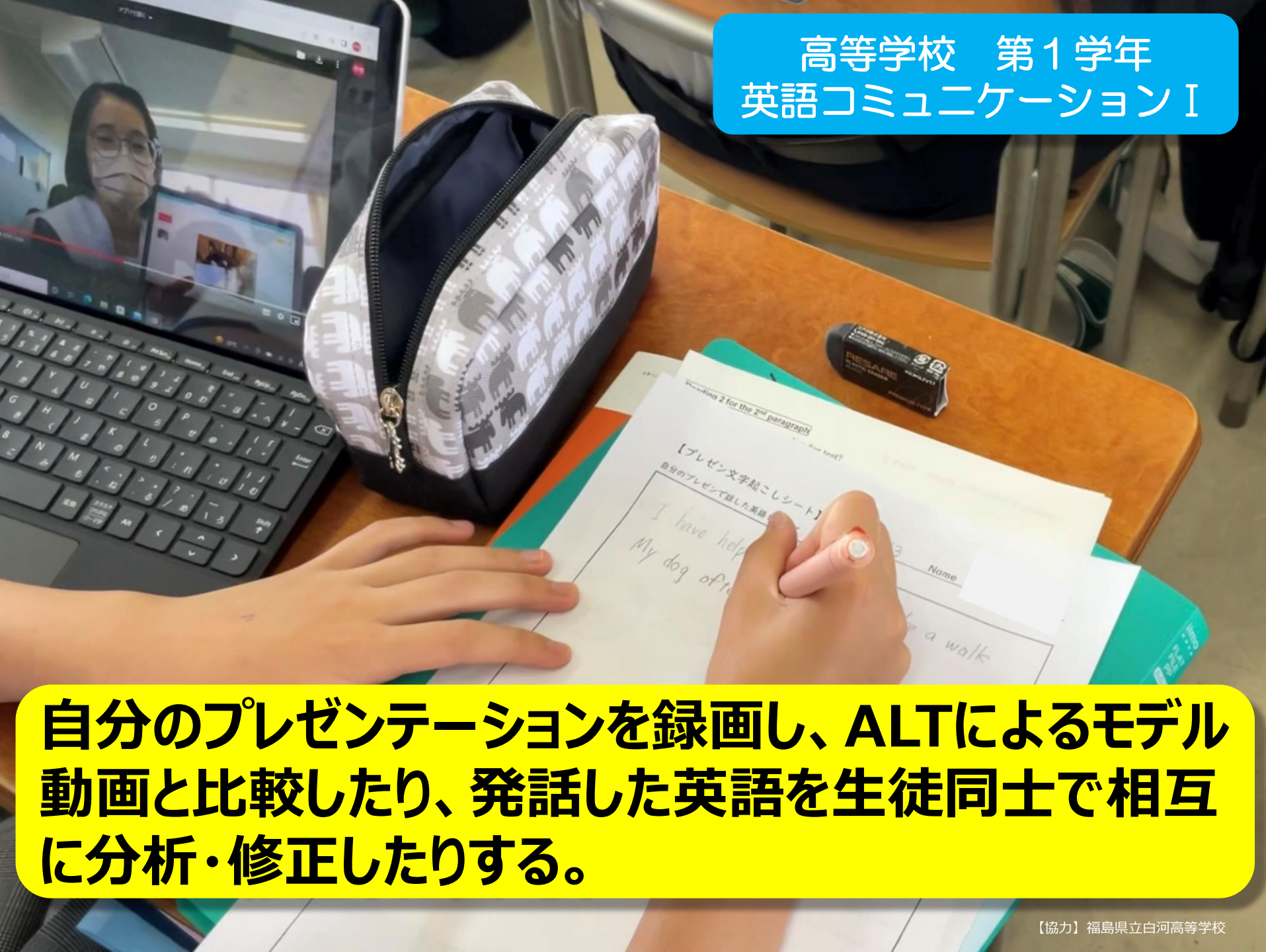


高等学校 第1学年
英語コミュニケーションⅠ



自分のプレゼンテーションを録画し、ALTによるモデル動画と比較したり、発話した英語を生徒同士で相互に分析・修正したりする。

■単元の目標

若者のSNSの長時間使用について、聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の考えや、気持ちなどを1分間程度で、理由とともに相手にわかりやすく話して伝えることができる。

■単元の概要

個人端末のビデオ機能を活用して自己及び他者との対話活動を充実させ、自分の話している英語を客観視させることで、話す英語の流暢さと正確さの向上を目指す。

■単元の指導計画（9時間）

・各パートを2時間で学習し、単元内で計4回、教科書の内容に関連した半即興的なプレゼンテーション活動を行う。

- 第1時：教科書本文の内容理解活動
(英文を聞いたり読んだりして、概要や要点、詳細を把握する活動)
- 第2時：表現活動

Part 1（第1時・第2時）

（内容）鈴木家の一員と認められるまでのAnzu（プレゼントピック）ペットとして飼いたい動物

Part 2（第3時・第4時）

（内容）警察犬のトレーニングを続けるAnzu（プレゼントピック）新しいことに挑戦することが好きか嫌いか

Part 3（第5時・第6時）

（内容）警察犬のテストに合格したAnzu（プレゼントピック）将来の夢

Part 4（第7時・第8時）

（内容）AnzuについてのSNSのコメント（プレゼントピック）若者がSNSを長時間使用することに賛成か反対か

まとめ（第9時）

学習した言語材料を活用する活動

■単位時間の概要

英文を聞いたり読んだりしたことを活用して、「ペットとして飼いたい動物」について自分の意見を述べる活動を行う。自分が感じるその動物の魅力やよさを、**必ず理由を添えて話す**ように留意する。

本文の内容や、本文で使用されている語句や表現等を活用して、「新しいことに挑戦することが好きか嫌いか」について自分の意見を述べる活動を行う。必ず好きか嫌いか**いずれかの立場に立って意見を述べる**よう促す。

英文を聞いたり読んだりしたことを活用して、「自分の将来の夢」について、**パートナーに1分間で話して伝える活動**を行う。各自端末で、その役割を的確に表す視覚教材も提示するように留意する。

本文の内容や、本文で使用されている語句や表現等を活用して、「若者がSNSを長時間使用することに賛成か反対か」について**自分の意見を述べる活動を行う。必ず賛成・反対のいずれかの立場で、理由を添えて話すように留意する。**

■資質・能力が育成され「深い学び」が実現している生徒の姿

【学習活動1】

- ① パートナーに対して1分間でプレゼンテーションを行い、個人端末に録画する。
- ② **自分のプレゼンテーション動画**（テーマ：若者がSNSを長時間使用することについて賛成か反対か）と、**ALTによるモデル動画を比較する。**
- ③ 内容や文法・表現等に関して、**共通点（何ができているか）や違い（何ができていないか）に注目して、気付いたことをワークシートに記述する。**
- ④ 違いの部分に注目して、**改善策を考える。**

【生徒の記述内容】

- モデル：相手の目を見て話していた／最初にしっかりと賛成か反対か述べられていた／具体的な例を出していて分かりやすい等
- 自分：読み違いやアクセントのミスをなくす／冠詞に気を付ける／相手が聞き取りやすいように接続詞を使いながら話せるようにする／理由を抽象→具体へ／tend to...[If～/problem is /It is difficult to...などのALTが実際に用いていた語句]を活用する 等

【学習活動2】

- ① 2回目のプレゼンテーションを個人端末に録画する。
- ② 動画を**書き起こし、言語面に注目してパートナーと相互分析を行い、改善点を決めて英文を修正する。**

【学習活動3】

- 3回目のプレゼンテーションを行う。

【当該指導での「深い学び」】

個人端末で録画した自分のプレゼンテーション動画と、モデル動画を比較することにより、**自分の話す英語の課題に気付き、改善点が明確になった。**さらに、パートナーと相互分析・改善作業をすることで、**自分だけでは気付けない改善の視点を得ることができ、話す英語の流暢さと正確さの向上につながった。**個人端末を活用することで、生徒は自分の発話を振り返って変容を認識することができ、話すことへの意欲の向上につながった。

■指導上の工夫とICTの利活用

- ① プレゼンテーションを個人端末に録画する。

* 録画により、生徒が自分の発話内容を確認できる。また、複数回の録画によって自分の変容を確認することができる。

- ② **ALTによるモデル動画との比較により、生徒の気付きをうながす。**

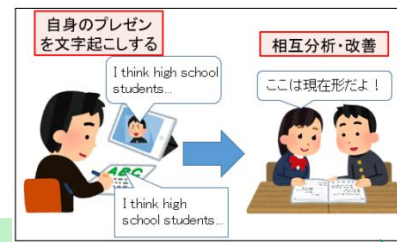
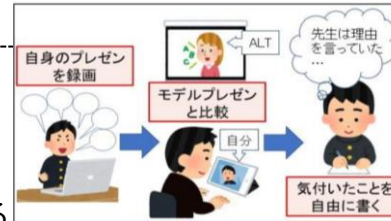
* ALTのモデル動画を作成する際に、指導につなげたいポイントを意図的にモデルに反映させておく。これにより、生徒が自分の動画とモデル動画を比較したときの気付きを促す。

* 個々の生徒が自分のペースで必要な箇所を繰り返し確認することができるようにする。

* 苦手な生徒に対して、教師が具体的な比較の視点を与える。これにより、優れたプレゼンテーションの特徴に気付かせる。

- ③ 書き起こした英文をパートナーと分析することで深い学びにつなげる。

* 使用している言語について、生徒同士で対話をしたり、自分の考えを説明することにより、語彙や、文法事項、文章構造などについての理解が深まる。



学習指導要領や解説との関連

学習指導要領 第8節 外国語

第2款 第1の1の(4) 話すこと【発表】

イ 社会的な話題について，使用する語句や文，事前の準備などにおいて，多くの支援を活用すれば，聞いたり読んだりしたことを基に，基本的な語句や文を用いて，情報や考え，気持ちなどを論理性に注意して話して伝えることができるようにする。

第1の2の(3)の①

オ 話すこと【発表】

(イ) 社会的な話題について，使用する語句や文，発話例が十分に示されたり，準備のための多くの時間が確保されたりする状況で，対話や説明などを聞いたり読んだりして，情報や考え，気持ちなどを理由や根拠とともに話して伝える活動。また，発表した内容について，質疑応答をしたり，意見や感想を伝え合ったりする活動。